

授業科目名 (英文名)	財政シミュレーション特論	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	木村 真	所属	シミュレーション学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 どのような研究テーマを扱うにしても、政府の活動は何らかの形で関わっていることがほとんどである。本講義では、国や地方、社会保障の財政シミュレーションで用いるいくつかの研究手法を紹介する。</p> <p>【到達目標】 特別研究において政策的な観点からの分析を行おうとする際の参考となるような知識を身につけることを目標とする。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 前半では制度に基づくシミュレーション（機械的試算等）を、後半では家計や企業の最適化行動を取り込んだ応用一般均衡分析を講義する。1</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 財政・社会保障データの扱い 3. 財政シミュレーション（機械的試算） 4. 年金財政シミュレーション（年金数理計算）：全体像 5. 年金財政シミュレーション（年金数理計算）：被保険者と保険料 6. 年金財政シミュレーション（年金数理計算）：受給者と給付 7. 年金財政シミュレーション（年金数理計算）：財政検証 8. 財政の応用一般均衡分析（応用一般均衡分析の概要と応用例） 9. 財政の静学応用一般均衡分析（静学モデルの基礎） 10. 財政の静学応用一般均衡分析（税制改革への応用） 11. 財政の動学応用一般均衡分析（世代重複モデルの基礎） 12. 財政の動学応用一般均衡分析（世代重複モデルと税） 13. 財政の動学応用一般均衡分析（世代重複モデルと財政） 14. 財政の動学応用一般均衡分析（世代重複モデルと年金） 15. 財政関連シミュレーションの最近の研究動向紹介 		
テキスト	特に指定しない。		
参考文献	適宜紹介する。		
成績評価の基準・方法	<p>【成績評価の基準】 本講義の内容を理解し、扱った手法を習得したものに単位を授与する。到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>【成績評価の方法】 学習態度とレポートにより総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学の知識を有していることが望ましい。 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。 		
実践的教育	該当しない。		
備考			